

6年 8月 18日

愛媛県知事 伊賀貞雪 殿

設置者の住所

松山市二番町4丁目7番地2

氏名 松山市長 田中 誠一

電話番号



浄化槽を設置したいので、浄化槽法第5条第1項の規定により次のとおり届け出ます。

1. 設置場所の地名地番	松山市倉場町甲2番地		
2. 種類	<input checked="" type="radio"/> 建設大臣型式認定浄化槽 接触はたけ式 91-6PR-002 (名称 認定番号) - 2 <input type="radio"/> その他 70件 N2430C型		
3. 処理の対策	<input type="radio"/> L尿のみ <input checked="" type="radio"/> L尿及び雑排水		
4. 当該浄化槽において処理するL尿等を排出する建築物の用途及び延べ面積	斎場 1872.82 m <sup>2</sup>		
5. 処理対象人員及び算定根拠	130人 同条件による		
6. 処理能力	イ. 日平均汚水量	26.0 m <sup>3</sup> /日	
	ロ. 生物化学的酸素要求量の除去率	90 %	
	ハ. 放流水の生物化学的酸素要求量	20 mg/l	
7. 放流先又は放流方法	<input type="radio"/> 側溝 <input type="radio"/> 河川 <input type="radio"/> 湖沼 <input type="radio"/> 海域 <input type="radio"/> 地下浸透 <input checked="" type="radio"/> その他 (農業用水路へ自然に流す)		
8. 工事を行う予定の浄化槽工事業者の氏名又は名称及び登録番号	氏名又は名称 登録番号 無し		
9. 着工予定年月日	6年9月10日	10. 使用開始予定年月日	6年11月20日
11. 付近の見取図			
12. その他特記すべき事項	受理番号第 68192 号 門標番号第 130592 号		

行政庁記入欄

- (注意) 1. 2欄、3欄及び7欄は、該当する事項を○で囲むこと。  
 2. 11欄は、設置位置、放流経路、放流先、方位、道路及び目標となる地物を明示すること。  
 3. 12欄は、処理対策人員と使用予定人員が当面異なる場合にその使用予定人員を記入すること。

# 工場生産浄化槽認定シート 昭和55年建設省告示第1292号第6 第二号 (沈殿分離槽)

財団法人 日本建築センター

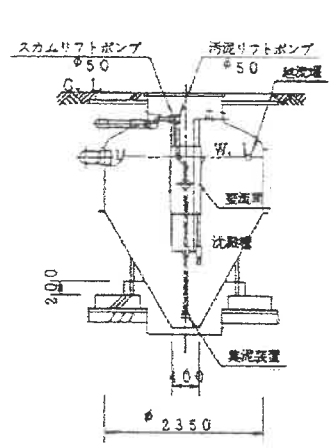
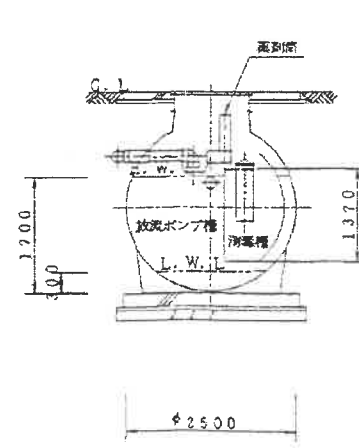
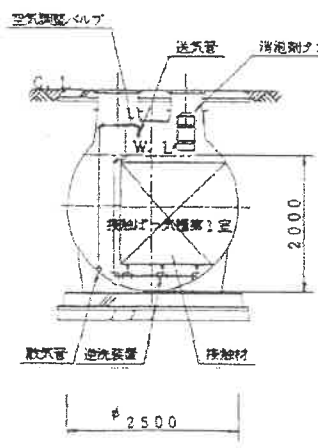
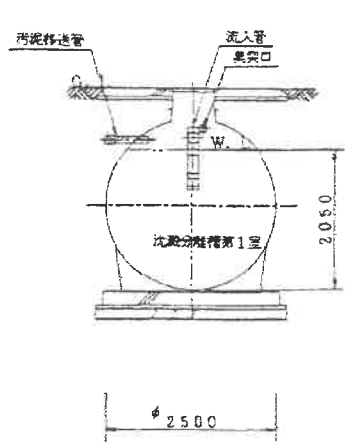
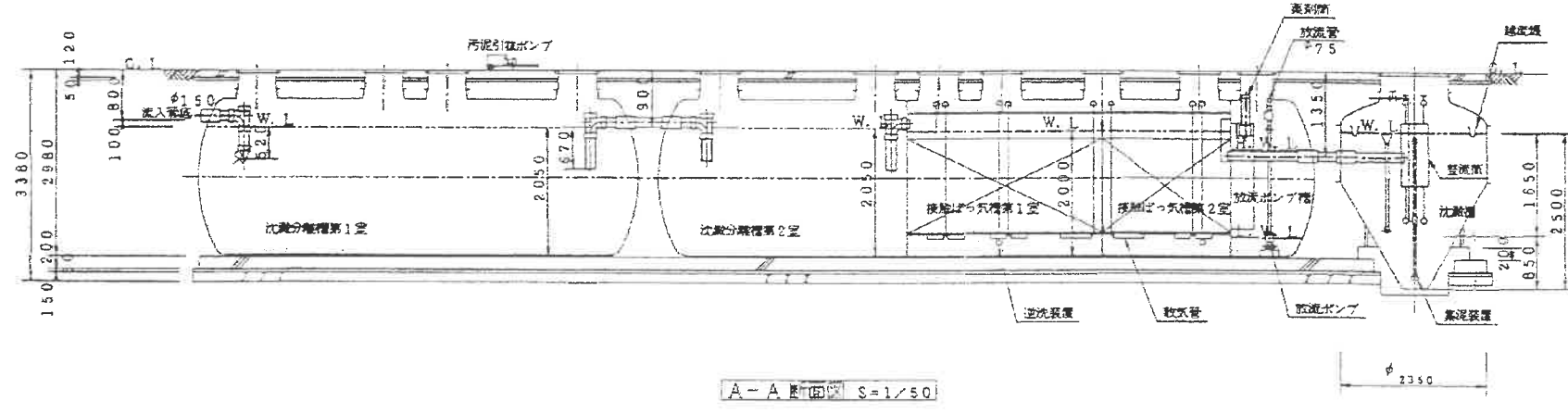
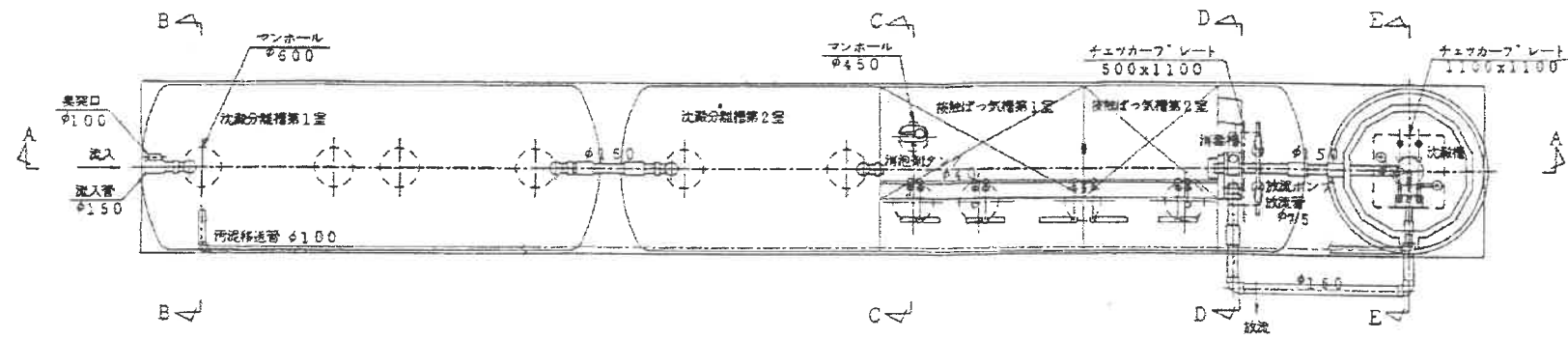
〒105 東京都港区虎ノ門三丁目2番2号 第30森ビル



会社名 **ダイキ株式会社**  
 住所 〒790 松山市福音寺町 55-1 ☎ (0899) 75-1111

型式 **ダイキ合併処理浄化槽N2-C型** 認定番号 91-6BT-002-2  
 認定年月日 平成3年4月1日 処理対象人員 51~200人  
 日平均汚水量 4.08~32.30m<sup>3</sup>/日 流入BOD濃度 200~450ppm

項目	1室	2室	合計
沈殿分離槽	1室 1.103~31.258	2室 5.561~18.429	合計 6.664~49.687
流量調整槽			
接触ばっ気槽	1室 3.367~17.059	2室 2.925~11.371	合計 5.892~28.430
沈殿槽		4.191~5.838	
消毒槽		0.365	
汚泥濃縮貯留槽			
汚泥濃縮槽			
汚泥貯留槽			



項目	仕様	単位	値			
沈殿分離槽	1室幅	2500	高さ	2900~7600	深さ	2050
	2室幅	2500	高さ	1450~4450	深さ	2050
流量調整槽	幅		高さ		深さ	
接触ばっ気槽	1室幅	2500	高さ	800~4070	深さ	2000
	2室幅	2500	高さ	600~2710	深さ	2000
沈殿槽	幅	200~2350	高さ	2900~2350	深さ	1575~1650
消毒槽	幅	870	高さ	360	深さ	1370
汚泥濃縮貯留槽	幅		高さ		深さ	
汚泥濃縮槽	幅		高さ		深さ	
汚泥貯留槽	幅		高さ		深さ	
仕様	材質	FRP(ガラス繊維強化プラスチック)	板厚(mm)	5~8		
仕切板	材質	FRP(ガラス繊維強化プラスチック)	板厚(mm)	6.4		
液	BOD 汚濁負荷(kg/m <sup>2</sup> ・日)		0.3以下			
板	接触材形状		波板状			
ば	接触材ピッチ(mm)		80			
っ	接触材充填率(%)		56以上			
気	ばっ気空気量(m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・時)		2.5以上			
槽	消泡の方法		消泡剤又は消泡ノズル			
	越流せき負荷(m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日)		30以下			
沈	水面積負荷(m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> ・日)		8以下			
降	ホッパー角度(°)		60以上			
槽	ホッパー底部一辺の長さ(mm)		400			
質	汚泥引抜方法		エアリフト方式			
等	薬剤接触時間(分)		15以上			
	薬剤の種類と接触方法		固形塩素剤			
槽	薬剤の貯留日数(日)		30以上			
の	送 型 式		ロータリー式又はルーツ式			
風	吐出風量(ℓ/分)		350以上			
仕	機 台 数 (台)		2			
流	流入管・移送管・放流管 材質	P.V.C(ポリ塩化ビニール)	内径(mm)	φ50~φ150		
	汚泥移送管 材質	P.V.C	内径(mm)	φ100		
	送気管 材質	P.V.C	内径(mm)	φ20~φ50		
	マンホール 材質	鋼鉄・コンクリート・FRP	内径(mm)	φ600		
	チェックプレート 材質	鋼鉄・SS(圧延鋼)・FRP	内径(mm)	500, 1190×1190		
	点検口 材質	鋼鉄・コンクリート・FRP	内径(mm)	φ450		

注) 容量、寸法等については範囲で示すこと。  
 注) 「深さ」は有効水深とする。